

12プログラム用意し

「湯原っしい」14日

住民が案内役
交流イベント

参加者を募集

真庭市湯原地区で住民が案内役を務める体

感するプログラム(11月10日)などがある。

験交流イベント「湯原っしい」(同実行委主催)が14日、11月17日に開かれる。12のプログラムを用意。それぞれの参加者を募っている。

「湯原っしい」とは「湯原らしい」と「素晴らしい」をもじって命名している。各プログラムは有料。詳しくはパンフレットかインターネットのホームページ (<http://www.yubarassyi.com>) を参照。

3回目の今回は「あなたの「たい」をかなえます」がテーマ。当初は9月1日に二川の山奥の芦雄神社を訪れる「天空の神様に会いにいきたくい」を予定していたが、台風15号の接近で同28日に延期。14日のスマートフォンを使った「カンタン撮影講座」からのスタートとなった。

「夏休み親子で楽しむ米粉教室」が29日までの3日間、伏見町の半鐘屋本店で開かれ、小学生と母親ら計60人が彼岸、月見向けのだんごを作り、舌鼓を打った。

栗を自宅前で拾い、皮むきや渋皮煮を体験する「ひろかばあちゃん」の技を学びたくい(10月3日)や、見明戸での田舎暮らし体験

「薄れつつある季節の食文化に目を向けてもらおうと同店が企画し、最終日は14人が参加。

(同14日)、「今夜は優雅に投扇興をやってみたくい」(同31日)、山中一揆の語り部・植木紋次郎さんと三坂峠を歩き、生きた歴史を体

岡田裕治社長が要領を見せながら、「生地は耳たぶの軟らかさが目